

日本の製造業のこれから



酒井代表

4月は新年度の始まりの月です。言わずもがなですが、先月に年度の終了を迎えたばかりで、すぐに新しい年度が始まる訳ですから事業は終わりのない繰り返しです。さて、事業の目標は目まぐるしく変化する事業環境にどう対処していくかを掲げるものです。グループ会社各社にはそれぞれの課題解決の目標を掲げてすでに活動に入っていることと思います。

最大の課題は生き残るといった消極的な困難解決ではなく、これからの日本の製造業の姿を作り上げるのかと思います。そもそも製造とは何か？といった定義にも立ち至る必要があります。古代シナから来た漢字を万葉などが助詞で日本語としてしまったこと、神道国だった日本が仏教も取り入れ現代にも盛んなこと、儒教も日本的に道徳的規範にしてしまったこと、アジアで唯一明治の近代化に成功したと、ワインもウイスキーも世界的水準にしてしまいい、車も電子部品も述べるまでもありません。神道を除きすべて外から来たものと言われるか

もしれません。でもどこに日本ほどのことを成し遂げた国があるでしょうか？日本は外に向けて発信することを文化的に得意としてきませんでした。しかし、今ようやく自分たちの価値を認識し始めました。数百年から千年以上も続く日本の文化を海外に発信すると外国人が注目するようになったのです。東京や京都ばかりでなく、日本のいたるところに外国人が溢れています。今はアジアからばかりではありません。和食の「旨み」などほついに世界語にもなりました。今、私たちは日本の伝統的なものを押し出すとともに、世界に拡散するIoTの技術を日本のなものとして改変させて世界に打ち出す時代が来ているように感じます。製造業のこれからは、漫画の中の「変身」とか「合体」という日本得意の技術を発揮するところにかかっているのだと思います。

分社グループ会報

第51号

分社

Bunsha

2017年(平成29年)5月9日 火曜日発行

《発行元》
分社理念研究所 事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目11番21号五反田TRビル3階
TEL 03-5496-1810
FAX 03-5496-1881
<http://www.bunshagroup.com/>

分社グループ 社長会開催

〔連絡事項・報告事項〕

平成29年3月16日(木)コートヤード・マリOTTホテル東武ホテルにおいて社長会が開催されました。

〔勉強会〕

各種連絡事項終了後、東京理科大学経営学部経営学科准教授牧野恵美先生をお迎えし、勉強会が開催されました。なぜ会社人間は新規事業に失敗するのか、リーダーシップを交えながら講義頂きました。最後に酒井代



表より挨拶があり、社長会は終了しました。

篠崎会長の挨拶に続き、事務局より次業績推移が報告され、下の取引関係、労働契約法の改正等に伴う社内規定等の整備・更新について各社での対応を呼びかけました。次いで3月14日(火)に開催された「経理・税務・金融部会」について座長の菅正彦社長より開催報告がなされました。

平成29年度 事業方針発表

グループ各社より事業方針を発表して頂きました。



		事業方針	重点施策
大陽工業(株)		創立70周年を迎えるに当り、第二の創業と位置付け、経営環境の大きな変化に着実に対応し、顧客のニーズにしっかりと応える付加価値の高い製品を提供できる『技術の大陽工業』の確立	<ul style="list-style-type: none"> ① 車載・ロボット用プリント回路基板の受注推進 ② プリント回路基板の海外市場開拓強化 ③ 装置事業での自社開発製品販売の積極的取組
インテグラン(株)		<ul style="list-style-type: none"> ●電源グループ: 売上高20億円を目指す。 ●装置グループ: 新規装置案件を育成し次の柱へ。 ●基板グループ: 基板設計に加え、関連周辺業務の売上増へ 	<ul style="list-style-type: none"> ①電源グループ: 直接、間接の生産性向上 ②装置グループ: 営業・製造など業務効率の改善 ③基板グループ: 超高速信号のシミュレーションと設計の習得
(株)大昌電子		<ul style="list-style-type: none"> ●受注の安定確保に全力を尽くす。IT中心からIoT、M2M関連にシフト ●歩留りを高め、廃棄1/2を目指し、目標利益に繋げる ●安全第一、法令遵守と環境保全で、事故のない職場、快適な職場 ●社員が輝き、物心ともに幸せと希望が持てる会社 	<ul style="list-style-type: none"> ①顧客構成と商品構成のバランスで安定受注、得意を活かす ②難しい製品が小回りよく、超品質で作れる生産工場を構築する ③財務力で会社の土台を強化する
セブンヒルズ(株)		顧客の要求をかなえるサービス商社への転身	<ul style="list-style-type: none"> ①商品販売事業での販路開拓 ②収益改善のため事業見直し ③営業力強化
富士精密(株)		Innovation 2020 更なる改革・改善と新たなことにチャレンジし続け、ネクストステージを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ①新規顧客の開拓 ②生産効率10%UP ③原価低減の徹底
丸忠デジタル(株)		「人」、「技術力」、「営業力」の向上を図り、主軸である既存の金型の事業を継続すると共に新しい分野への”チャレンジ” <ul style="list-style-type: none"> ●「営業力」を活かし情報収集に努め、1歩先に動く ●「技術力」を活かし、ビジネス拡大 ●全ては「人」が創る 	<ul style="list-style-type: none"> ①固定費削減を目指し、利益の出る企業体制の構築 ②引き続き、新規顧客の確保及び確保後のケア ③既存の工作機械を活かした加工品の受注拡大

平成29年度 事業方針発表

		事業方針	重点施策
大金電子工業(株)		<p><経営方針> 顧客満足の向上 (CUSTOMER SATISFACTION)</p> <p><重要方針> ●外的要因に大きく影響を受けない事業構造の構築 ●経営環境の変化に耐えうる企業体質の構築 ●持続性を高める企業(事業)運営の構築</p>	<p>①新規受注 ②対応力 ③品質保証</p>
(株)幸大ハイテック		<p>”OEM+1(脱、下請け)元年”をスローガンに、医療機器EMS事業を徹底研究し、更に、脱下請けを目指す。</p>	<p>①医工連携による製販原動力モデルを目指す。 ②医療機器販売業の充実。 ③全社員の意識改革(自主性、チームワーク力向上)</p>
(株)マグトロニクス		<p>Innovation 2016-18</p>	<p>①ビジネス拡大 ②業務改革 ③企業レベルの向上</p>
(株)ダイテック テクノロジーズ		<p>●全部門一丸となってシナジー(相乗効果)を構築 ●選択と集中「質」のこだわり</p>	<p>①付加価値に寄与するコア技術の開発 ②開発との融合で徹底したコスト削減への体制確立 ③製造力強化への体制確立</p>
(株)サテリット		<p>金属加工分野において高精度、短納期での製品化を実現するとともに樹脂成形分野においては3Dプリンターを利用した成形試作品の受注量の拡大を目指していく。また、金属加工、樹脂成形品の一括受注による組立品の取り込みを図る。</p>	<p>①技術レベルの向上 ②樹脂成形品の新規受注の獲得 ③人材の採用、育成</p>
(株)トライタム		<p>TRY2020 version3.0 既存分野の拡大とともに医療機器分野では次のステージへのステップアップを目指します。</p>	<p>①原価低減の徹底 ②医療機器分野の確立 ③見える化による生産性および品質向上</p>

事務局からの
お知らせ

平成29年分社グループ株主総会開催

日時)： 5月30日(火) 6月22日(木) 13:30 開始
(※6月は社長会・吉生会も開催致します。)
場所)： コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル



平成29年度 事業方針発表

		事業方針	重点施策
日本フライト セーフティ(株)		航空業界に優秀な操縦士を送り込むことにより、航空業界の発展を基礎から支える	①操縦訓練 操縦士不足問題に対処、大手2社の認定新人訓練を引き続き継続実施 ②遊覧飛行 高付加価値のきめの細かいサービスを充実させ、リピーター客の増加に取り組む ③28年間継続している無事故記録を更新、将来に備え、新人整備士、操縦士の確保と技量向上に力を入れる
(株)コダビット		”キャスト(役者)で顧客価値を実現”をスローガンにES(従業員満足度)、CS(顧客満足度)向上で、多様な働き方を実践する。	①人材確保(女性短時間労働希望者、シニア層の確保) ②派遣先の多様化(製造業から設計、事務系への拡大) ③全社員の意識改革(新幹線清掃スタッフの働きぶりを真似よう)
(株)ニューシステム ズテクノロジー		「成長分野への営業展開」と「事業構造改革の推進」 ●トータルマーケティングを展開して、成長を期待できる市場開拓を推進します。 ●対応できるプロジェクトマネジメントの組織体制を強化します。 ●「企業は人なり」、チーム編成できる技術者を補強します。	①強みである計測・制御市場でのマーケティング活動による新規顧客及び新規案件の開拓。 ②需要が見込まれるWebビジネスにおけるSESビジネスの確立。 ③PDCAによる組織・プロジェクト別のマネジメント体制の構築。

展示会出展

インテگران(株)

テクノフロンティア 民生及び産業用機器・装置メーカーの開発設計・研究者、生産技術者との情報交流の場
TECHNO-FRONTIER 2017

国内唯一の「電源」に関する専門技術展
 第32回 **電源システム展**

平成29年4月19日(水)～21日(金)幕張メッセで開催されたテクノフロンティア2017第32回電源システム展にインテگران(株)が出展しました。ブースには護衛艦や特殊



車両に搭載されている電源が展示され、来場者の高い関心を集めていました。設計からオーバーホールまでお客様と共に作り上げていく製品群は今後も篤い信頼と実績を積み上げていくものと強く感じました。

<グループ全体従業員数> (平成29年3月31日現在) (単位:人)

	正社員	契約社員	パート・嘱託社員	派遣社員	新入社員	計
男性	1,450 (88.0%)	127 (7.7%)	11 (0.7%)	22 (1.3%)	38 (2.3%)	(1,648)
女性	403 (59.3%)	184 (27.1%)	76 (11.2%)	2 (0.3%)	15 (2.2%)	(680)
合計	1,853 (79.6%)	311 (13.4%)	87 (3.7%)	24 (1.0%)	53 (2.3%)	(2,328)

(株)ダイチューテクノロジーズ

2017 Japan IT Week 春 内
 第20回 **組み込みシステム開発技術展**
ESEC

会 期: 2017年5月10日[水]～12日[金]
 会 場: 東京ビッグサイト
 主 催: リード エグジビション ジャパン 株式会社

小間 No. **西3-64** に出展します

(株)ダイチューテクノロジーズが5月10日(水)～12日(金)東京ビッグサイトで開催される組み込みシステム開発技術展に出展します。皆さま、是非ご来場下さい。